

新たな森林環境税使途事業 平成23年度当初予算の概要

(単位:千円)

施策・事業	当初予算		実施内容 (斜体は新規、拡充するもの)
	金額	割合	
放置森林(人工林)の整備 (272,000千円)			
施業放置林整備事業 (旧名称…森林環境保全緊急間伐事業)	260,000	72.8%	<ul style="list-style-type: none"> ○森林の公益的機能の増進を図るため、施業放置林(人工林)について強度の間伐(40%以上)を実施 ○「環境保全林」に区分された森林を対象 ○対象区域について、従来の「自然歩道や世界遺産のバッファゾーン」及び「自然公園内」に加え、安全・安心の観点から、「人家周辺の山地災害危険箇所」及び「集落水源の集水区域」を追加 ○森林の状況に応じて、強度間伐と併せて広葉樹植栽も実施
施業放置林解消活動推進事業 (旧名称…奈良の元気な森林(もり)づくり推進事業)	12,000	3.4%	○施業放置林を調査し、その森林の所有者に対して森林整備に活用できる制度の紹介や、森林の公益的機能についての普及啓発を実施
里山の整備 (30,000千円)			
里山づくり推進事業	30,000	8.4%	
地域で育む里山づくり事業 (旧名称…里山林機能回復整備事業)	(10,000)		○NPOやボランティア、地元住民等の参加で、荒廃した里山の不用木竹等の除去により、景観や機能を保全し、利活用する 従来、整備については一回限りとしていたが、継続実施の場合は既実施箇所の再整備も補助対象
新 獣害につよい里山づくり事業	(20,000)		○林業事業者等による不用木竹等の伐採により、集落との緩衝帯をつくり、獣害の低減や景観の保全を推進
森林環境教育の推進 (43,507千円)			
森林環境教育推進事業	43,507	12.2%	
農林部実施	(23,646)		○県民を対象とした森林環境教育の指導者セミナーや、体験学習、副読本の配布等を実施 県民の木とふれあう機会を拡充するため、間伐材を使用した木製ベンチを作成し、公共施設等に設置
教育委員会実施	(19,124)		○学校現場での森林環境教育(体験学習)や、指導教員の研修等を実施 ・毎年全小学校での体験学習の実施 ・高校生を対象とした森林環境教育に関わる人材の育成
くらし創造部実施	(737)		○野外活動センターを活用して、森林に関する知識の習得、活動体験、木工工作講座等を通じた森林環境教育の推進
森林に親しむための環境整備と森林生態系の保全など (11,641千円)			
新 森林とのふれあい推進事業	4,500	1.3%	○多くの県民等が森林に親しむため、林内への立入(ふれあい)や眺望の活用(ながめる)を目的に森林整備を実施 23年度は箇所選定及び全体計画策定を実施
新 森林生態系保全事業	6,811	1.9%	○森林生態系へ影響を及ぼす有害獣や病害虫について、被害状況の把握と被害の防除を実施
新 奈良県森林CO₂吸収量認証推進事業	330	0.1%	○地球温暖化防止への貢献度を見える化するため、適切に整備された森林による二酸化炭素の吸収量を認証する県独自制度を運営
合計	357,148	100%	